0037. 羅刹軍の防備の配置とラーマの攻撃の計画

0038. ラーマ軍はスヴェーラ山頂に宿営

0039. 山頂より見るランカーの景観

0040. スグリーヴァとラーヴァナの闘争

0041. ラーマはアンガダを派遣してシーターの返還を促す

0042. 両軍の戦闘開始

0043. 両軍の勇士の一騎打ちの戦い

0044. 夜の戦い、アンガダの活躍

0045. インドラジトはラーマ兄弟を矢の網で縛る

0046. スグリーヴァとその軍の悲嘆

0047. 打ち倒された兄弟をシーターに見せる

0048. シーターの嘆き、羅刹女トリジャターの慰め

0049. ラーマはラクシュマナを見て嘆く

0050. ガルダ鳥、両勇士を救う

0051. 羅刹ドゥームラークシャの出撃

0052. ハヌマトとドゥームラークシャの戦い

0053. 羅刹ヴァジュラダンシュトラの出撃

0054. アンガダとヴァジュラダンシュトラの戦い

0055. 羅刹アカンパナの出撃

0056. ハヌマトとアカンパナの戦い

0057. 羅刹プラハスタの出撃

0058. プラハスタとニーラとの戦い

0059. ラーヴァナの出撃と退避

0060. クンバカルナを眠りから起こす

0061. クンバカルナを見て、猿軍は驚嘆する

0062. クンバカルナはラーヴァナの宮殿に行く

0063. クンバカルナはラーマとの戦いを宣言する

0064. クンバカルナに対するマホーダラの反対意見

0065. クンバカルナの出撃

0066. クンバカルナを見て逃げる猿たちをアンガダは鼓舞する

0067. クンバカルナの奮戦と死

0068. ラーヴァナの嘆き

0069. 両軍の勇士の奮戦

0070. 両軍の勇士の奮戦

0071. 羅刹アティカーヤの出撃と戦死

0072. ラーヴァナの嘆き

0073. インドラジトの大奮闘、両王子は危難に落ちる

0074. ハヌマトは薬草を山ごと運ぶ

0075. 猿軍のランカーへの進撃による大火災、両軍の大戦闘

0076. 勇士たちの奮戦、羅刹クンバはスグリーヴァに倒される

0077. ハヌマトと羅刹ニクンバの戦い

0078. 羅刹マカラークシャの出撃

0079. マカラークシャの最後

0080. インドラジトの出撃

0081. インドラジトは魔法で作ったシーターを切る

0082. ハヌマトはシーターの惨事を報告

0083. ラクシュマナの嘆き

0084. ヴィビーシャナの有益な進言

0085. ラクシュマナがインドラジト討伐のためにニクンビラーの祭場へ出撃する

0086. インドラジトは祭式を中断して出撃する

0087. ヴィビーシャナとインドラジト

0088. ラクシュマナとインドラジトの戦い

0089. インドラジトの苦戦

0090. インドラジトの戦死

0091. ラーマはラクシュマナの功績を讃える

0092. ラーヴァナは愛児の死を嘆く

0093. ラーマの偉大な活躍

0094. 親族を失った羅刹女たちの嘆き

0095. ラーヴァナは三指揮官とともに出撃

0096. ヴィルーパークシャの戦死

0097. マホーダラの戦死

0098. マハーパールシュヴァの戦死

0099. ラーマとラーヴァナの戦い(一)

0100. ラーマとラーヴァナの戦い(二)

0101. ハヌマトの活躍によるラクシュマナの蘇生

0102. ラーマとラーヴァナの戦い(三)

0103. ラーヴァナの苦戦を見て、御者は一時離脱をはかる

0104. ラーヴァナは御者を叱責して戦場へ復帰する

0105. アガスティヤ仙による太陽の讃歌の勧め

0106. ラーヴァナに凶兆が現れる

0107. 両勇士の互角の戦い

0108. 梵天の武器によるラーヴァナの死

0109. ヴィビーシャナは兄ラーヴァナの死を嘆く

0110. ラーヴァナの女官たちの嘆き

0111. マンドーダリー王妃の嘆き、ラーヴァナの葬儀

0112. ヴィビーシャナはランカーの王位につく

0113. ハヌマトはシーターに会う

0114. ラーマはシーターに会う

0115. シーターの品行への疑惑

0116. シーターは試罪の火にはいる

0117. 梵天はラーマに彼の本性を告げる

0118. 火の神、シーターの無垢を証言する

0119. ダシャラタ王はラーマ、ラクシュマナ、シーターを讃える

0120. 戦死した猿たちの蘇生

- 0121. 帰国のために天車プシュパカを用意する
- 0122. アヨーディヤーへ出発、ラーマを援助したすべてが同行
- 0123. キシュキンダーの雌猿たちも同行

0124. バラドヴァージャ仙の隠棲所に立ち寄る

0125. ハヌマトを派遣してラーマの帰還をバラタに知らせる

0126. ハヌマトはバラタに詳細を報告する

0127. バラタとシャトルグナの歓迎

0128. ラーマの即位と統治、ラーマーヤナ聴聞の功徳